

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

平成30年10月15日

米子市議会議長様

会派名 信風

代表者氏名 中田利幸

提出者氏名 伊藤ひろえ



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安達卓是、伊藤ひろえ、中田利幸
期日	平成30年10月9日から平成30年10月10日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 平成30年10月9日 埼玉県狭山市 「高齢者等世話付住宅生活援助派遣事業について」 平成30年10月10日 埼玉県志木市 「在宅医療・介護連携推進について」	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 186,948円

狭山市 行政視察の報告

2018年10月 信風

調査事項 「高齢者等世話付住宅生活援助派遣事業」の取り組みについて

長寿健康部長寿安心課、都市建設部住宅営繕課、社会福祉法人（施設）の説明

1 事業概要

平成13年3月30日付、市が「狭山市高齢者等世話付住宅生活援助員派遣事業実施要項」を制定し、本事業に取り組むこととなる。翌年度より社会福祉法人狭山福祉会に業務委託する。

- (1) 高齢者等世話付住宅に入居している高齢者又は障がい者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるように、市が生活援助員を派遣し、これら高齢者等の住宅生活を支援することを目的として制定。
- (2) シルバーハウジングプロジェクト（昭和63年2月 建設省住宅局長・厚生省社会局長通知）の取り組みについて、住宅施策と福祉施策の連携により、高齢者等の生活特性に配慮したバリアフリー化された公営住宅等と生活援助員（ライフ：L、サポート：S、アドバイザー：A）による日常生活支援サービスの提供を併せて行う、高齢者世帯向けの公的賃貸住宅の供給事業。
- (3) 生活援助員（LSA：ライフサポートアドバイザー）とは、市の委託により、シルバーハウジング、高齢者向け優良賃貸住宅等に居住している高齢者に対して、必要に応じて日常の生活指導、安否確認、緊急時における連絡などのサービスを行う者。

2 事業の特徴

住居内の天井に高性能マイク付きスピーカーを内蔵。

居室、台所、風呂、トイレに緊急用の呼び出しボタンを備える。

→緊急事態対応や監視盤の表示灯、マイク会話により職員対応が可能。

夜間及び休日は近隣の特別養護老人ホームの緊急通報に繋がり、24時間対応が可能。

二重の安全管理（12時間水道水を使用しない、2時間水を出しっぱなし）

3 予算

平成30年度：530万円。援助員（常勤：1人、非常勤：1人）

4 入居条件

- (1) 高齢者（65歳以上）の単身世帯・高齢者（65以上）で構成されている世帯・60歳以上の夫婦で構成されている世帯
 - (ア) 自炊が可能な健康状態であるが身体機能の低下等が認められ、又は高齢のため独立して生活するには不安があると認められる者であること。
 - (イ) 住宅困窮度が高く、かつ家族による援助が困難であること。
 - (ウ) 市長が特に必要と認める時は、障がい者の単身世帯、障がい者で構成されて

いる世帯、夫婦で構成されている世帯でそのいずれかが障がい者であるもの又は障がい者と高齢者若しくは 18 歳未満の者で構成されている世帯であってこれらの世帯の障がい者又は高齢者のいずれかが前述の(1)、(2)に該当する者であること。

5 援助員の勤務委託内容

①相談及び指導 ②安否確認 ③一時的な家事援助 ④緊急時対応 ⑤関係機関との連絡。

生活援助派遣事業の対象・申請手続き・費用負担の設置。費用負担の階層(手数料区分)を定める。

家事援助については、本人に必要なサービスの種類と量を決定する。

「状態急変」や「緊急性」のある場合の家事援助のみ対象。介護サービスは「在宅」と同じ扱いとする。〈良き隣人であれ〉

6 市の直接業務

業務委託料の支払い。課税状況を証する書類の受領。利用者負担額の決定。担当者(連絡者)会議の対応。処遇困難ケースや他機関への繋ぎ。

7 事業の継続性

高齢者世話付住宅の有用性が時代にそぐわないと判断することにならない限り、引き続き事業を継続する考えである。

所 感

全国的に地域でも高齢化が一層と進み中、また障がいのある方々が日常生活の中で、住宅援助(公的なサービス)を受けながら暮らす社会システムの施策のあり方を見聞することが出来たことは有意義であった。

現地での施設説明によると、2つの様式の部屋(大きなタイプ、小さなタイプ)は利用者に合わせた用途の間取りで、玄関部分にまず安全装置があり、居心地と安否確認の装置があり、公的住宅のあり様を研修したことは今後、このような事業を考える上で、良い研修機会を得た。

本市にはない公的な住宅政策の実状を知り、新たな視野を広げることが出来たように思う。他都市の先例の情報を聞くことで、地域の課題を政策立案まで繋げることができるよう更に研究を深めることが出来たらと考える。

志木市行政視察報告

在宅医療・介護連携推進について

(平成30年10月10日) 9:40～11:40

説明：健康福祉部 長寿応援課 近藤政雄課長
齊藤久美子主査（保健師）

まず、詳細な資料で「在宅医療・介護連携の推進について」丁寧な説明を受けた。地域支援事業改定後、包括的支援事業は地域包括支援センターに加え、「在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策推進事業、生活支援体系整備事業の充実」が明記された。そのひとつの「在宅医療・介護連携推進事業」の事業項目は、地域の医療介護連携の実体把握、課題の検討、課題に応じた施策立案で、8つの事業（①地域の医療・介護の資源の把握 ②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ③医療・介護関係者の研修 ④切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 ⑤在宅医療・介護関係者の情報の共有支援 ⑥在宅医療・介護関係者に関する相談支援 ⑦地域住民への普及啓発 ⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携）を関連付けて進めていくものであり、志木市は着実に進めていた。具体的な取り組みとしては、『志木市医療介護連携お助けガイド』の作成や、ケアカフェしき、医療介護連携ワークショップ、情報誌の発行等。

説明を受けた後、それぞれが質問したり、担当者と意見交換し、さらに踏み込んだ議論や改めて気づかされるが多々あった。医療や介護の資源不足という志木市に比べ、米子市は医療施設や介護施設が多いが、その情報を整理しリストやマップ等の共有・活用は不十分である。今後、地域包括ケアシステムを構築するうえで早急に取り組む必要があると改めて考えることができた。医療機関と介護事業者等の連携は一朝一夕にできないことから、志木市に学んだことを活かしながら少しずつでも推進し、地域に住む誰もが、それぞれの住み慣れた地域で安心して最期まで過ごせる選択ができるよう取り組みを進めていきたいと思った。



行政視察行程 (会派：信風)

月 日	行 程	宿 泊 地
10/9 (火)	<p>8:45 10:05 10:51 11:07 11:18 11:42 11:55 12:42</p> <p>米子空港 —— 羽田空港 ===== 品川駅 == 高田馬場駅 ===== 狹山市駅</p> <p>ANA384 便 京急空港線エアポート快特・印旛日本医大行 JR 山手線外回り 西武新宿線急行・本川越行</p> <p>狹山市行政視察 午後 2 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分まで 【議会事務局】 ☎ : 04-2953-1111 (内線 3313)</p> <p>【調査項目】 高齢者等世話付住宅生活援助派遣事業について</p>	<p>新狹山第一 ホテル ☎04-2952-0001</p>
10/10 (水)	<p>8:56 9:02 9:19 9:31</p> <p>新狹山駅 ===== 本川越駅 *** 川越市駅 ===== 志木駅</p> <p>西武新宿線急行・本川越行 徒歩 東武東上線急行・池袋行</p> <p>志木市行政視察 午前 9 時 4 0 分から午前 1 1 時 4 0 分まで 【議会事務局】 ☎ : 048-473-1111 (内線 2803)</p> <p>【調査項目】 在宅医療・介護連携推進について</p> <p>12:22 12:43 12:50 13:22 13:28 13:46 14:55 16:15</p> <p>志木駅 ===== 池袋駅 ===== 浜松町駅 ===== 羽田空港 —— 米子空港</p> <p>東武東上線快速・池袋行 JR 山手線内回り モノレール ANA385 便</p>	

旅費計算表

平成30年10月9日 ～ 平成30年10月10日 (1泊2日)

信風 会派行政視察
埼玉県狭山市、埼玉県志木市

月 日	区 間	鉄 道 路 線 名	区 間 数 キ ロ	目的地ま でのキロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
10/9	米子空港～羽田空港	ANA			23,940				1,500		7,600
(火)	～品川	京急			410						
	～高田馬場	JR			200						
	～狭山市	西武			440						
10/10	新狭山～本川越	西武			180						
(水)	本川越～川越市	徒歩			-						
	志木	東武			250						
	志木～池袋	東武			310				1,500		
	～浜松町	JR			260						
	～羽田空港	モノレール			490						
	～米子空港	ANA			23,940						
計	議員旅費			61,020	50,420	0	0	0	3,000	0	7,600
	随行旅費			0							

出席議員 安達卓是、伊藤ひろえ、中田利幸

議員旅費 61,020 × 3名 = 183,060 円
 お土産代 1,944 × 2カ所 = 3,888 円(狭山市、志木市)
 旅費総額 186,948 円